

研究領域：【「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」】

「仲間と共に学び合う学習集団づくり」

～思考を深める言語活動の展開～

1 研究の目的

- ・児童の主体的・対話的で深い学びの実現（国語科を主に）
- ・仲間と共に学び合える児童の育成
- ・教師の授業力の向上

2 教師の願いとめざす児童像

<教師の願い>

- ・自己有用感（自分もやればできる、できるようになる、人の役に立つことができる）をもたせたい。
- ・学習を通して、「人とかかわる」社会性を育てたい。
- ・互いに認め合い、協力し合って伸びていこうとする集団をつくりたい。

<めざす児童像>

- ・「できる喜び」をもてる子
- ・人とかかわって楽しく学習できる子
- ・仲間と協力して、共に向上していこうとする子



3 研究の内容

- ・日々の授業に生かす国語授業の工夫
- ・国語科における系統的な指導の追究
- ・授業実践を通しての課題追究

4 本年度の推進の重点

- ・グループの研究テーマを設定し、手立てに沿った授業の向上をめざす。
- ・日々の授業改善に役立つ指導方法や系統指導の共通理解及び授業実践の促進（グループを通して）。
- ・事前検討協議（指導案検討・模擬授業）の実施と充実。
- ・授業研究・協議会後の授業について再吟味し、本校の国語授業を確かなものにしていく。
- ・協議会（全体会）活性化の工夫。協議会で成果や課題、疑問点等を共有する。

5 授業研究の進め方

（1）研究授業の事前検討協議・再吟味

本校の授業研究会は、①グループ全体での教材研究・授業研究 ⇒②授業者による模擬授業形式での授業提案（事前検討協議）⇒③研究授業・研究協議会 ⇒④再吟味（研究授業から約1週間後）というサイクルで実施している。

※ サイクルのイメージ

